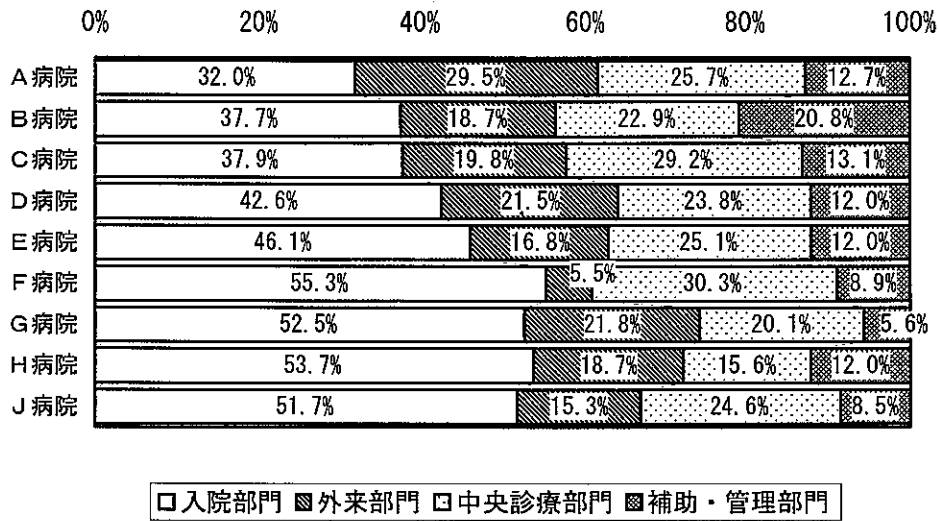


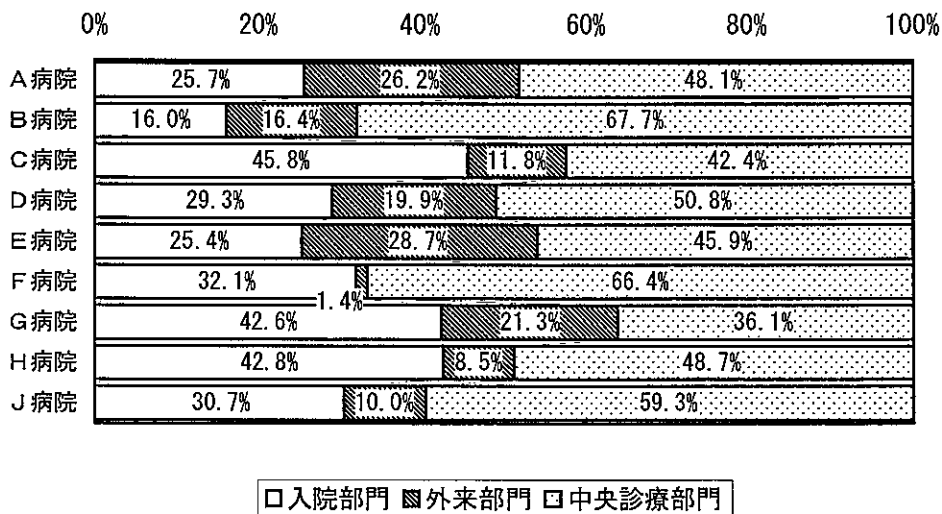
図表 3-3 一次計上結果（給与費）



(2) 材料費

材料費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはC病院で、全体の45.8%を占めた。外来部門では、E病院の比率が最も高く28.7%であった。中央診療部門ではB病院が最も高く67.7%、補助・管理部門はいずれの病院もゼロであった。

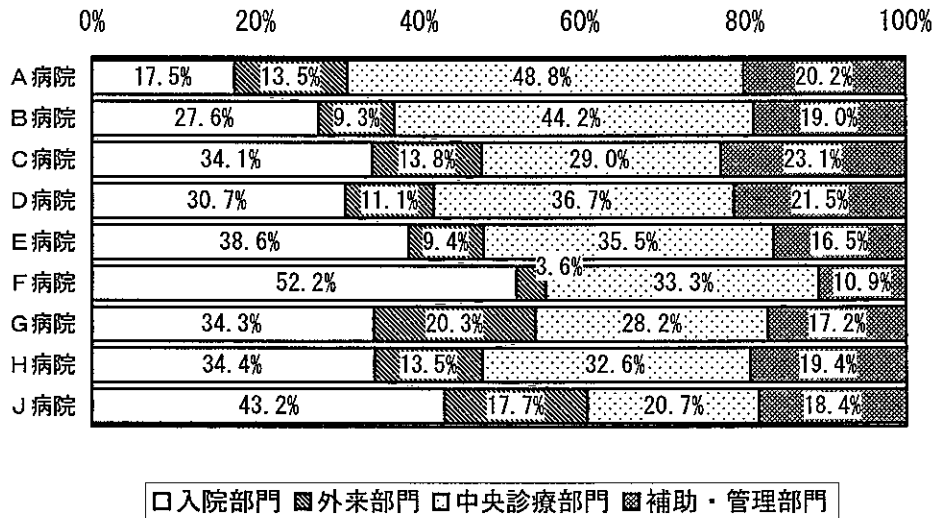
図表 3-4 一次計上結果（材料費）



(3) 経費

経費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、全体の52.2%を占めた。外来部門では、G病院の比率が最も高く20.3%であった。中央診療部門ではA病院が最も高く48.8%、補助・管理部門ではC病院が最も高く23.1%であった。

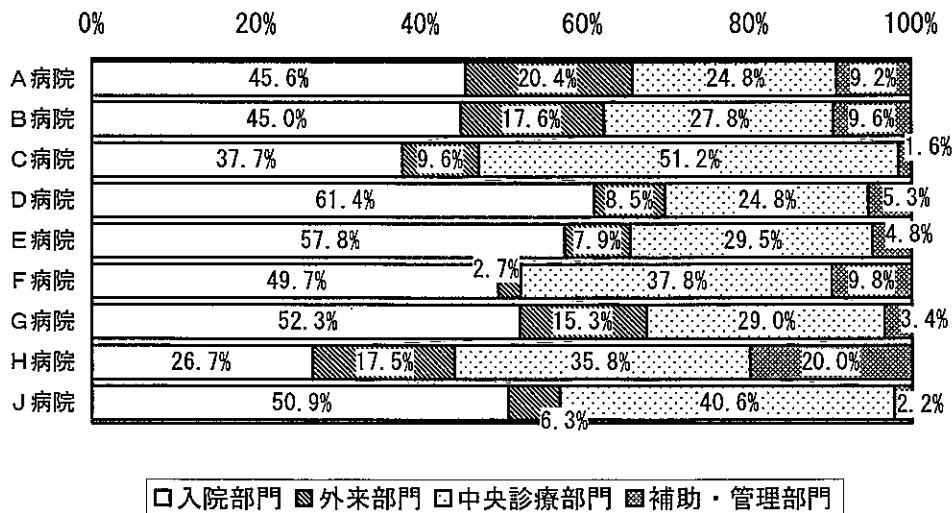
図表 3-5 一次計上結果（経費）



(4) 減価償却費

減価償却費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはD病院で、全体の61.4%を占めた。外来部門では、A病院の比率が最も高く20.4%であった。中央診療部門ではJ病院が最も高く82.9%、補助・管理部門ではH病院が最も高く20.0%であった。

図表 3-6 一次計上結果（減価償却費）

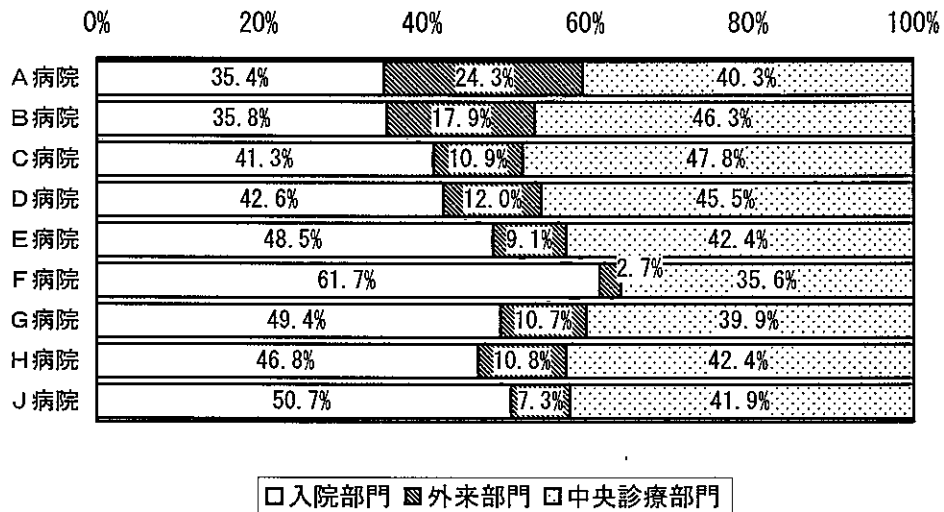


3.1.3. 二次配賦結果

3.1.3.1. 医業収益

医業収益の二次配賦結果は、一次計上の結果（3.1.2.1）と同じである。

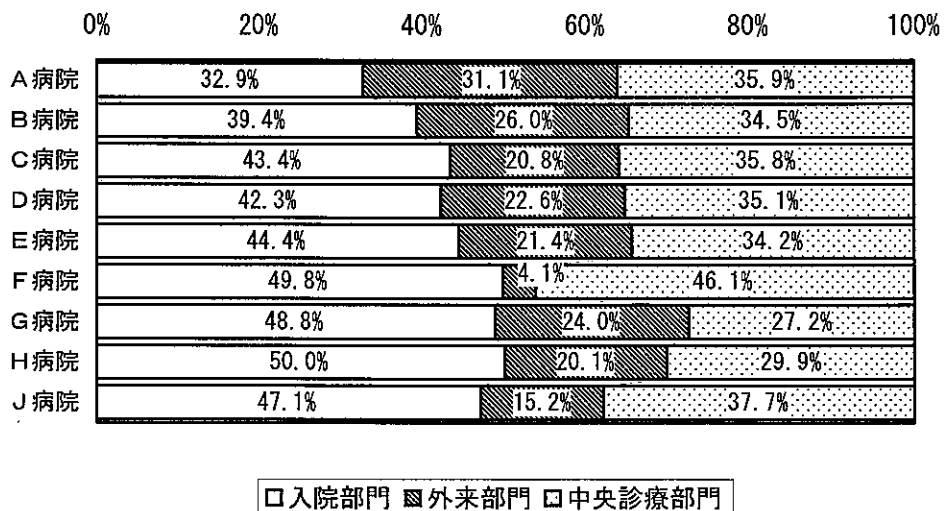
図表 3-7 二次配賦結果（医業収益）



3.1.3.2. 医業費用合計

医業費用合計を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはH病院で、全体の50.0%を占めた。外来部門ではA病院の比率が最も高く31.1%、中央診療部門ではF病院が最も高く46.1%であった。

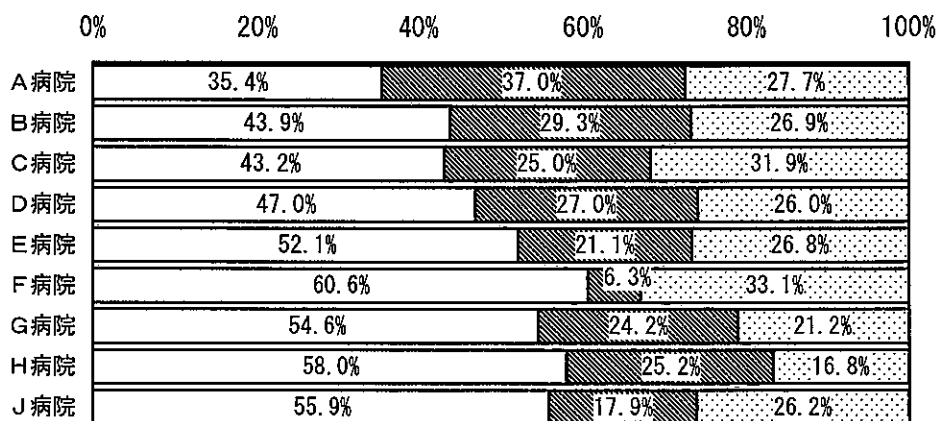
図表 3-8 二次配賦結果（医業費用合計）



(1) 給与費

給与費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、全体の60.6%を占めた。外来部門ではA病院の比率が最も高く37.0%、中央診療部門ではF病院が最も高く33.1%であった。

図表 3-9 二次配賦結果（給与費）

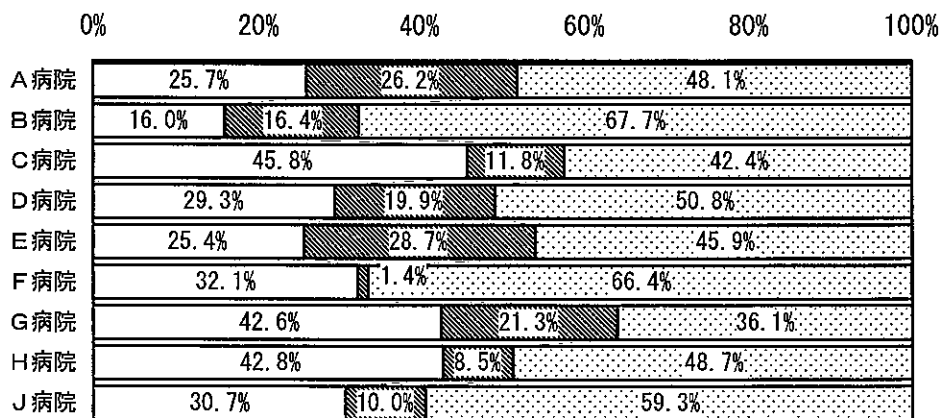


□入院部門 ■外来部門 □中央診療部門

(2) 材料費

材料費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはC病院で、全体の45.8%を占めた。外来部門ではE病院の比率が最も高く28.7%、中央診療部門ではB病院が最も高く67.7%であった。

図表 3-10 二次配賦結果（材料費）

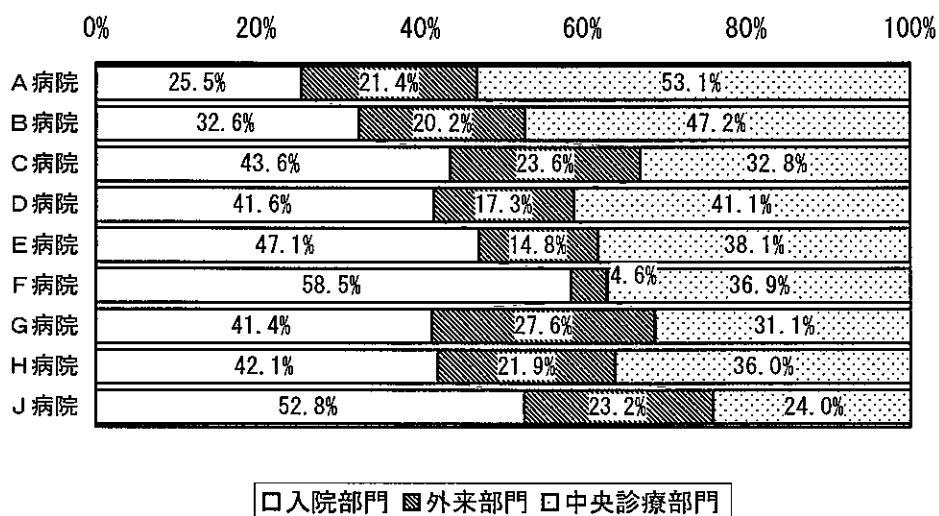


□入院部門 ■外来部門 □中央診療部門

(3) 経費

経費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、全体の58.5%を占めた。外来部門ではG病院の比率が最も高く27.6%、中央診療部門ではA病院が最も高く53.1%であった。

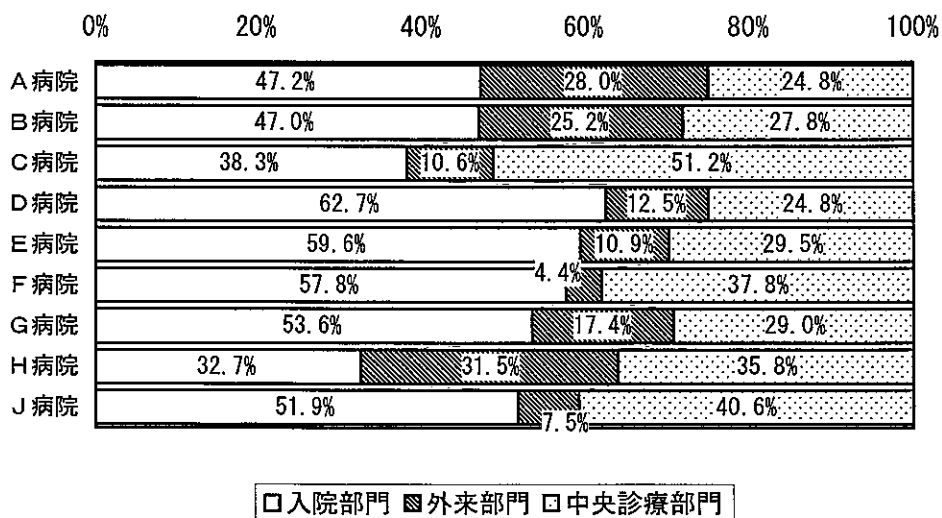
図表 3-11 二次配賦結果（経費）



(4) 減価償却費

減価償却費を病院別に見ると、入院部門の比率が最も高いのはD病院で、全体の62.7%を占めた。外来部門ではH病院の比率が最も高く31.5%、中央診療部門ではC病院が最も高く51.2%であった。

図表 3-12 二次配賦結果（減価償却費）

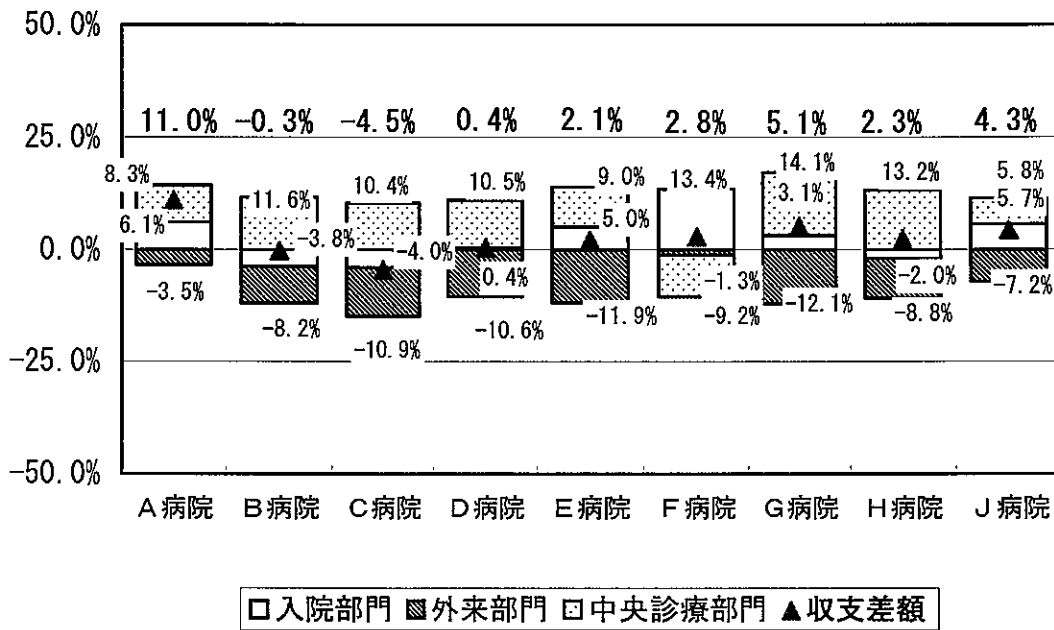


3.1.3.3. 収支差額

病院別に各部門の医業収益合計に対する収支差額を見ると、入院部門の比率が最も高いのはF病院で、医業収益全体の13.4%であった。外来部門ではF病院の比率が最も高く-1.3%、中央診療部門ではG病院が最も高く14.1%であった。

病院全体の収支差額比率ではA病院が最も高く11.0%であった。

図表 3-13 二次配賦結果（収支差額）



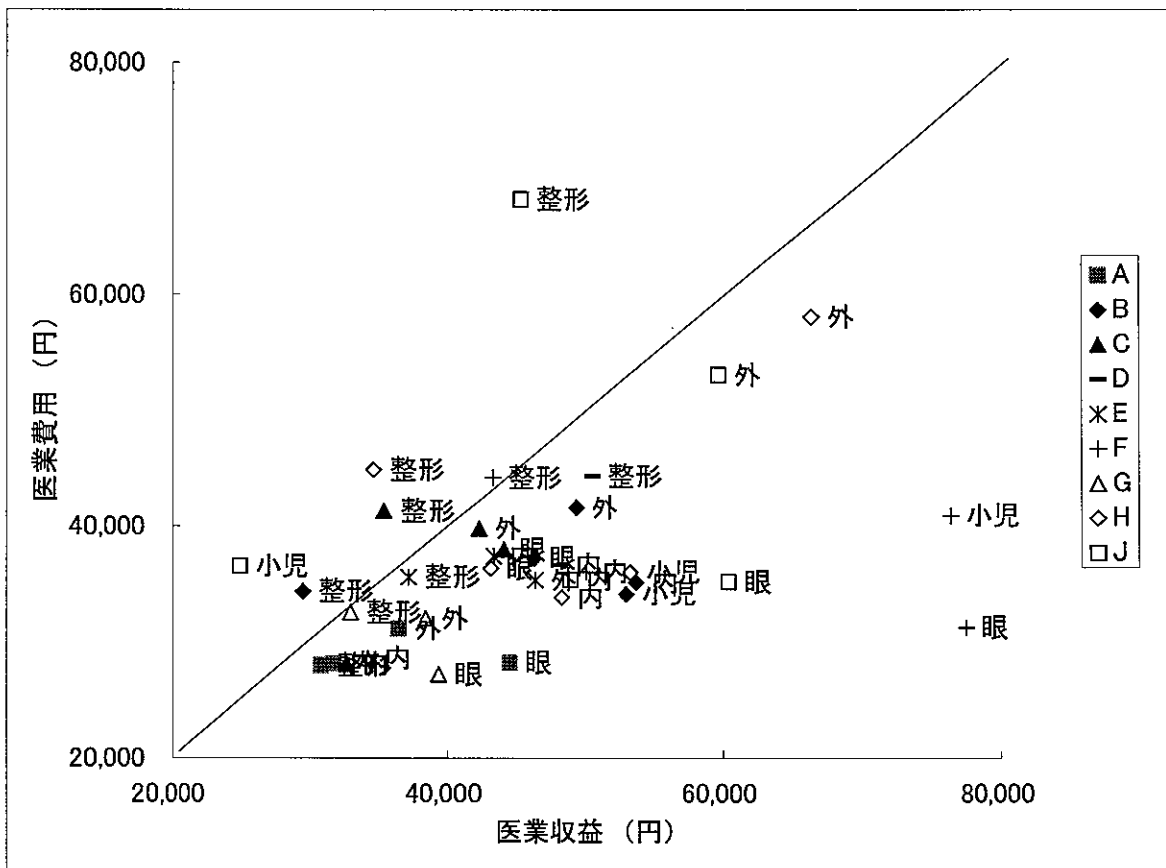
3.1.4. 三次配賦結果

3.1.4.1. 入院部門

入院部門の各診療科¹における患者1人1日あたりの医業収益と医業費用を見ると、黒字の診療科が多い傾向がみられた。

診療科別に見ると内科と外科はともに多くの病院で黒字であった。整形外科では、一部赤字の病院も見られたが、多くの病院で医業収益、医業費用がともに40,000円前後に収まっていた。小児科、眼科についてはほとんどの病院で黒字であるが、特にF病院については、両科とも費用の2倍近い収益をあげていた。

図表 3-14 三次配賦結果（患者1人1日あたり入院部門・医業費用／医業収益）



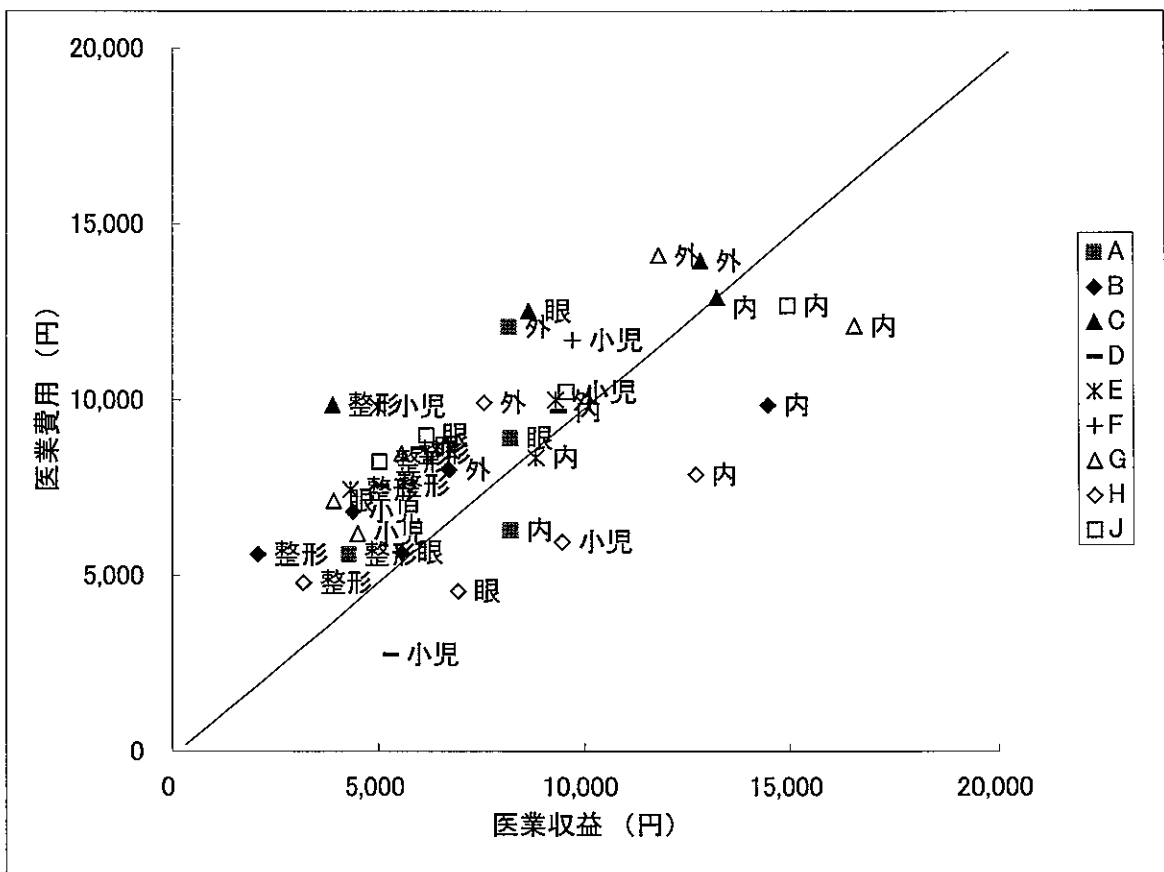
¹ 本分析では、内科、外科、小児科、整形外科、眼科を例にとりグラフ化した。

3.1.4.2. 外来部門

外来部門の各診療科²における患者1人1日あたりの医業収益と医業費用を見ると、赤字の診療科が多い傾向が見られた。

診療科別にみると、多くの病院において内科は黒字、外科は赤字傾向にあった。整形外科においても赤字の病院が多く見られ、医業収益、医業費用がともに10,000円程度に収まるものだった。小児科では、病院ごとに医業費用にばらつきがみられた。眼科については赤字の病院が多い傾向にあった。

図表 3-15 三次配賦結果（患者1人1日あたり外来部門・医業費用／医業収益）



3.1.5. 入院・外来別の診療科ごとの収支計算例（全体）

全病院（計9病院）に対する入院・外来別の診療科ごとの収支計算を行った（図表 3-16）。各計算結果は、施設全体の収益額を100とした場合の割合とした（数値）。さらに、診療科別の収支構造を明らかにする必要から、各部門による項目別部門合計への寄与を計算した（括弧付数値）。但し、各項目の割合は、各病院について計算した割合に対し、さらに全病院について単純平均値を算出したものである。よって、病院の特性を含んでおらず、計算例とした。

三次配賦で得られた診療科別の収支計算例をみると、入院部門は、施設全体の医業収益の7割強、外来部門が3割弱を占めた。

医業費用については施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割弱、外来部門は3割であった。

収支差額について施設全体の医業収益に占める割合は、入院部門で3.7%の黒字、外来部門は2.8%の赤字であった。診療科別にみると、入院部門では内科が2.8%の黒字、整形外科が0.4%の赤字となっていた。外来部門では内科が1.8%の黒字、外科が0.2%の赤字となっていた。

図表 3-16 三次配賦で得られた診療科別の収支計算例

(上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合)

(下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合)

	三次配賦 入院部門															
	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	婦人科
医業収益	13.9 (13.9)	3.2 (3.2)	2.7 (2.7)	10.8 (10.8)	6.1 (6.1)	0.8 (0.8)	8.1 (8.1)	6.4 (6.4)	1.3 (1.3)	4.8 (4.8)	1.6 (1.6)	0.9 (0.9)	0.4 (0.4)	2.2 (2.2)	1.8 (1.8)	1.2 (1.2)
医業費用	11.1 (11.2)	2.7 (2.8)	2.8 (2.9)	8.2 (8.3)	6.6 (6.6)	0.9 (0.9)	7.9 (8.0)	6.9 (6.9)	1.3 (1.3)	4.8 (4.9)	1.3 (1.3)	1.5 (1.6)	0.3 (0.3)	1.9 (1.9)	2.9 (2.9)	1.0 (1.0)
給与費	5.6 (11.2)	1.4 (2.8)	1.6 (3.3)	4.1 (8.3)	2.2 (4.5)	0.5 (1.0)	3.7 (7.5)	3.3 (6.7)	0.8 (1.5)	2.4 (4.8)	0.6 (1.2)	0.6 (1.3)	0.1 (0.3)	1.2 (2.3)	1.6 (3.1)	0.5 (1.0)
材料費	2.4 (9.9)	0.7 (2.9)	0.3 (1.4)	2.3 (9.4)	3.2 (13.0)	0.1 (0.5)	2.6 (10.6)	2.1 (8.5)	0.2 (0.8)	1.3 (5.4)	0.5 (1.9)	0.7 (3.0)	0.1 (0.2)	0.3 (1.3)	0.3 (1.2)	0.2 (0.9)
経費	2.3 (12.5)	0.5 (2.5)	0.6 (3.4)	1.4 (7.3)	1.0 (5.3)	0.2 (1.2)	1.2 (6.5)	1.1 (5.8)	0.2 (1.2)	0.9 (4.8)	0.2 (0.9)	0.1 (0.7)	0.1 (0.3)	0.4 (1.9)	0.6 (3.4)	0.2 (1.3)
減価償却	0.7 (11.8)	0.1 (2.0)	0.2 (3.8)	0.4 (7.4)	0.2 (2.7)	0.1 (1.5)	0.3 (5.6)	0.3 (5.7)	0.1 (1.2)	0.2 (3.8)	0.1 (1.0)	0.0 (0.6)	0.0 (0.2)	0.1 (1.7)	0.4 (6.9)	0.0 (0.3)
本部費	0.1 (18.6)	0.0 (12.3)	—	—	0.0 (4.0)	0.0 (0.0)	0.0 (15.8)	0.0 (8.9)	—	0.0 (10.7)	—	—	0.0 (0.2)	0.0 (3.8)	—	0.0 (1.6)
役員報酬	0.0 (18.2)	—	—	—	—	0.0 (4.7)	0.0 (9.4)	0.0 (5.5)	—	—	—	—	0.0 (0.6)	0.0 (2.0)	0.0 (11.4)	—
収支差額	2.8 (305.2)	0.4 (48.8)	-0.1 (-12.8)	2.6 (280.8)	-0.4 (-47.1)	-0.2 (-16.8)	0.1 (16.4)	-0.4 (-49.2)	0.0 (3.9)	-0.1 (-6.7)	0.3 (30.8)	-0.7 (-74.2)	0.1 (11.2)	0.2 (26.3)	-1.1 (-123.3)	0.3 (30.5)

	三次配賦 入院部門					
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	ICU/CCU/ICU	入院計
医業収益	0.7 (0.7)	1.2 (1.2)	0.5 (0.5)	0.6 (0.6)	2.8 (2.8)	72.0 (72.0)
医業費用	0.6 (0.6)	1.0 (1.0)	0.3 (0.3)	1.9 (1.9)	2.3 (2.4)	68.2 (68.9)
給与費	0.3 (0.7)	0.5 (1.1)	0.2 (0.4)	1.2 (2.3)	1.5 (3.0)	33.9 (66.2)
材料費	0.1 (0.3)	0.2 (0.8)	0.1 (0.2)	0.5 (1.9)	0.3 (1.1)	18.5 (75.3)
経費	0.1 (0.5)	0.2 (0.9)	0.1 (0.4)	0.2 (1.1)	0.5 (2.5)	11.9 (64.3)
減価償却	0.0 (0.6)	0.1 (1.0)	0.0 (0.5)	0.1 (1.9)	0.1 (1.8)	3.7 (62.0)
本部費	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	—	—	—	0.2 (76.3)
役員報酬	0.0 (1.0)	0.0 (2.4)	0.0 (2.1)	—	—	0.0 (57.1)
収支差額	0.2 (20.5)	0.3 (30.4)	0.2 (21.9)	-1.3 (-144.9)	0.5 (53.4)	3.7 (405.0)

第3章 調査研究の結果

	三次配賦															
	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科
医業収益	8.7 (8.7)	0.2 (0.2)	1.0 (1.0)	1.4 (1.4)	3.5 (3.5)	1.1 (1.1)	0.7 (0.7)	2.2 (2.2)	1.8 (1.8)	0.5 (0.5)	—	0.7 (0.7)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.3 (0.3)	1.8 (1.8)
医業費用	6.9 (7.0)	0.1 (0.1)	0.7 (0.7)	0.6 (0.7)	3.2 (3.2)	1.0 (1.0)	0.8 (0.8)	2.5 (2.5)	3.1 (3.2)	1.1 (1.1)	0.0 (0.0)	1.4 (1.4)	0.1 (0.1)	0.2 (0.2)	0.5 (0.5)	2.0 (2.0)
給与費	3.7 (7.4)	0.1 (0.1)	0.3 (0.5)	0.4 (0.7)	1.4 (2.9)	0.6 (1.1)	0.4 (0.8)	1.2 (2.4)	1.7 (3.4)	0.8 (1.6)	0.0 (0.0)	0.6 (1.2)	0.1 (0.1)	0.1 (0.3)	0.3 (0.6)	0.9 (1.7)
材料費	1.4 (5.5)	0.0 (0.1)	0.3 (1.3)	0.1 (0.5)	0.9 (3.8)	0.1 (0.2)	0.0 (0.2)	0.7 (3.0)	0.5 (2.1)	0.2 (0.6)	—	0.5 (2.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	0.6 (2.4)
経費	1.4 (7.7)	0.0 (0.2)	0.1 (0.6)	0.1 (0.8)	0.7 (3.6)	0.3 (1.6)	0.2 (1.2)	0.4 (2.3)	0.7 (3.6)	0.2 (0.9)	0.0 (0.2)	0.2 (1.1)	0.0 (0.2)	0.0 (0.2)	0.1 (0.8)	0.4 (2.1)
減価償却	0.4 (7.0)	0.0 (0.4)	0.0 (0.6)	0.0 (0.7)	0.2 (2.7)	0.1 (1.2)	0.1 (1.0)	0.1 (2.0)	0.2 (4.1)	0.0 (0.7)	0.0 (0.1)	0.1 (1.1)	0.0 (0.2)	0.0 (0.2)	0.0 (0.8)	0.1 (2.1)
本部費	0.0 (4.8)	—	0.0 (0.1)	—	—	—	—	0.0 (1.2)	0.0 (4.5)	0.0 (0.6)	—	0.0 (1.5)	—	—	0.0 (1.5)	0.0 (2.4)
役員報酬	0.0 (11.4)	—	—	—	—	—	—	0.0 (3.0)	0.0 (3.5)	0.0 (3.7)	—	—	—	—	0.0 (2.2)	0.0 (2.2)
収支差額	1.8 (197.5)	0.1 (9.7)	0.2 (24.8)	0.7 (78.5)	0.3 (32.4)	0.1 (15.2)	-0.1 (-6.0)	-0.2 (-25.9)	-1.4 (-150.7)	-0.6 (-70.9)	-0.0 (-4.6)	-0.6 (-69.5)	-0.0 (-1.2)	-0.1 (-12.9)	-0.2 (-25.8)	-0.2 (-20.8)

	三次配賦								合計
	産婦人科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	0.5 (0.5)	0.3 (0.3)	1.5 (1.5)	0.8 (0.8)	0.6 (0.6)	0.0 (0.0)	0.4 (0.4)	28.0 (28.0)	100.0 (100.0)
医業費用	1.2 (1.2)	0.6 (0.6)	1.8 (1.8)	1.0 (1.0)	1.1 (1.1)	0.1 (0.1)	0.8 (0.8)	30.8 (31.1)	99.1 (100.0)
給与費	0.7 (1.4)	0.4 (0.7)	1.0 (2.1)	0.5 (1.1)	0.4 (0.9)	0.0 (0.1)	0.4 (0.7)	15.8 (31.8)	49.7 (100.0)
材料費	0.1 (0.2)	0.1 (0.4)	0.2 (0.6)	0.1 (0.4)	0.3 (1.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.1)	6.1 (24.7)	24.5 (100.0)
経費	0.3 (1.7)	0.1 (0.6)	0.4 (2.1)	0.3 (1.4)	0.2 (1.3)	0.0 (0.2)	0.2 (1.3)	6.8 (35.7)	18.5 (100.0)
減価償却	0.1 (2.0)	0.0 (0.5)	0.2 (2.7)	0.1 (1.6)	0.1 (2.4)	0.0 (0.1)	0.2 (3.7)	2.3 (38.0)	6.0 (100.0)
本部費	—	0.0 (1.5)	—	0.0 (1.9)	—	—	—	0.1 (23.7)	0.3 (100.0)
役員報酬	0.0 (4.4)	—	0.0 (3.2)	0.0 (2.2)	0.0 (3.3)	0.0 (2.0)	0.0 (1.6)	0.0 (42.9)	0.1 (100.0)
収支差額	-0.7 (-77.3)	-0.3 (-32.5)	-0.3 (-32.5)	-0.2 (-24.8)	-0.5 (-52.3)	-0.1 (-7.3)	-0.4 (-48.2)	-2.8 (-305.0)	0.9 (100.0)

3.1.6. 入院・外来別の診療科ごとの収支計算結果例（200床以上）

3.1.5 入院・外来別の診療科ごとの収支計算例（全体）に対し、200床以上の病院（計6病院）についてのみ収支計算を行った。

三次配賦で得られた診療科別の収支結果（200床以上 n=6）をみると、入院部門は、施設全体の医業収益の8割弱、外来部門が2割強を占めた。

医業費用については施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は7割強、外来部門は3割弱であった。

収支差額について施設全体の医業収益に占める割合は、入院部門で4%の黒字、外来部門は3%程度の赤字であった。診療科別にみると、入院部門では内科が2.7%の黒字、整形外科が0.4%の赤字となっていた。外来部門においては、内科が0.8%の黒字、外科が0.1%の赤字となっていた。

図表 3-17 三次配賦で得られた診療科別の収支結果（200床以上 n=6）

（上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合）

（下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合）

【三次配賦】	三次配賦																
	入院部門																入院計
	内科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	呼吸器外科	心血管外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	婦人科	
医業収益	12.7 (12.7)	3.4 (3.4)	2.9 (2.9)	11.5 (11.5)	6.6 (6.6)	0.8 (0.8)	8.8 (8.8)	6.7 (6.7)	1.4 (1.4)	5.9 (5.9)	1.7 (1.7)	0.9 (0.9)	0.4 (0.4)	2.5 (2.5)	2.2 (2.2)	1.3 (1.3)	
医業費用	9.9 (10.0)	2.9 (3.0)	3.0 (3.1)	8.8 (8.9)	7.0 (7.1)	1.1 (1.1)	9.2 (9.3)	7.1 (7.2)	1.3 (1.4)	5.8 (5.9)	1.4 (1.4)	1.7 (1.7)	0.3 (0.3)	2.1 (2.1)	2.5 (2.5)	1.0 (1.0)	
給与費	4.7 (9.6)	1.5 (3.2)	1.8 (3.7)	4.4 (9.2)	2.4 (5.0)	0.6 (1.2)	3.8 (7.9)	3.1 (6.4)	0.8 (1.7)	2.8 (5.9)	0.6 (1.3)	0.7 (1.4)	0.1 (0.3)	1.2 (2.6)	1.4 (3.0)	0.5 (1.1)	
材料費	2.4 (8.7)	0.8 (2.8)	0.4 (1.3)	2.5 (9.0)	3.4 (12.5)	0.2 (0.6)	3.6 (13.3)	2.6 (9.4)	0.2 (0.8)	1.6 (5.7)	0.5 (1.9)	0.8 (2.9)	0.1 (0.2)	0.4 (1.3)	0.4 (1.5)	0.2 (0.8)	
経費	2.3 (12.4)	0.5 (2.6)	0.7 (3.6)	1.4 (7.7)	1.1 (5.6)	0.2 (1.3)	1.4 (7.6)	1.1 (6.1)	0.2 (1.3)	1.1 (6.0)	0.2 (0.9)	0.1 (0.8)	0.1 (0.3)	0.4 (2.1)	0.5 (2.7)	0.3 (1.4)	
減価償却	0.4 (9.1)	0.1 (2.6)	0.2 (5.1)	0.5 (10.0)	0.2 (3.6)	0.1 (2.2)	0.3 (5.4)	0.3 (6.1)	0.1 (1.6)	0.3 (5.4)	0.1 (1.4)	0.0 (0.8)	0.0 (0.3)	0.1 (2.2)	0.1 (3.0)	0.0 (0.4)	
本部費	0.1 (19.9)	0.0 (8.7)	—	—	0.0 (2.9)	0.0 (0.0)	0.1 (18.0)	0.0 (9.5)	—	0.0 (10.7)	—	—	0.0 (0.1)	0.0 (3.6)	—	0.0 (1.1)	
役員報酬	0.0 (19.0)	—	—	—	—	0.0 (3.9)	0.0 (10.4)	0.0 (5.7)	—	—	—	—	0.0 (0.4)	0.0 (1.9)	0.0 (10.6)	—	
収支差額	2.7 (248.7)	0.5 (43.1)	-0.1 (-11.3)	2.7 (248.3)	-0.5 (-41.7)	-0.3 (-22.8)	-0.4 (-32.0)	-0.4 (-36.6)	0.0 (3.5)	0.1 (8.7)	0.3 (27.2)	-0.7 (-65.6)	0.1 (9.9)	0.4 (32.3)	-0.3 (-23.6)	0.3 (26.9)	

【三次配賦】	三次配賦					
	入院部門					入院計
	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	
医業収益	0.6 (0.6)	1.6 (1.6)	0.6 (0.6)	0.6 (0.6)	2.4 (2.4)	75.5 (75.5)
医業費用	0.4 (0.4)	1.2 (1.2)	0.4 (0.4)	2.1 (2.1)	2.3 (2.4)	71.5 (72.3)
給与費	0.2 (0.5)	0.7 (1.4)	0.2 (0.4)	1.2 (2.6)	1.5 (3.2)	34.2 (72.0)
材料費	0.1 (0.3)	0.3 (0.9)	0.1 (0.2)	0.5 (1.8)	0.3 (1.0)	21.1 (77.0)
経費	0.1 (0.4)	0.2 (1.1)	0.1 (0.4)	0.2 (1.1)	0.4 (2.3)	12.7 (67.9)
減価償却	0.0 (0.4)	0.1 (1.6)	0.0 (0.6)	0.1 (2.5)	0.1 (2.0)	3.1 (66.2)
本部費	0.0 (0.0)	0.0 (0.4)	—	—	—	0.3 (75.0)
役員報酬	0.0 (1.1)	0.0 (2.3)	0.0 (1.4)	—	—	0.1 (56.6)
収支差額	0.2 (16.4)	0.4 (36.8)	0.2 (19.4)	-1.4 (-128.2)	0.1 (5.0)	4.0 (364.5)

第3章 調査研究の結果

	三次配賦															
	外来部門															
	内科	精神科	神経内科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	美容外科	脳神経外科	呼吸器外科	心血管外科	皮膚科	泌尿器科
医業収益	4.7 (4.7)	0.3 (0.3)	1.0 (1.0)	1.5 (1.5)	3.7 (3.7)	1.2 (1.2)	0.7 (0.7)	2.4 (2.4)	1.4 (1.4)	0.5 (0.5)	—	0.7 (0.7)	0.1 (0.1)	0.1 (0.1)	0.4 (0.4)	2.1 (2.1)
医業費用	3.9 (4.0)	0.2 (0.2)	0.8 (0.8)	0.7 (0.7)	3.4 (3.4)	1.1 (1.1)	0.7 (0.7)	2.5 (2.5)	2.2 (2.2)	1.2 (1.2)	0.0 (0.0)	1.6 (1.6)	0.1 (0.1)	0.2 (0.2)	0.7 (0.7)	2.2 (2.3)
給与費	1.8 (3.8)	0.1 (0.2)	0.3 (0.6)	0.4 (0.8)	1.5 (3.2)	0.6 (1.3)	0.4 (0.8)	1.1 (2.3)	1.2 (2.5)	0.8 (1.7)	0.0 (0.0)	0.6 (1.3)	0.1 (0.2)	0.1 (0.3)	0.4 (0.8)	0.9 (1.9)
材料費	1.0 (3.7)	0.0 (0.0)	0.3 (1.3)	0.1 (0.4)	1.0 (3.6)	0.1 (0.2)	0.1 (0.2)	0.8 (3.1)	0.3 (1.2)	0.2 (0.6)	—	0.8 (2.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.2)	0.7 (2.6)
経費	0.9 (4.7)	0.1 (0.4)	0.1 (0.6)	0.2 (0.8)	0.7 (3.8)	0.3 (1.7)	0.2 (1.2)	0.4 (2.4)	0.5 (2.7)	0.2 (1.0)	0.0 (0.2)	0.2 (1.0)	0.0 (0.2)	0.0 (0.3)	0.2 (1.0)	0.4 (2.4)
減価償却	0.2 (3.8)	0.0 (1.0)	0.0 (0.8)	0.0 (1.0)	0.2 (3.7)	0.1 (1.7)	0.1 (1.1)	0.1 (1.8)	0.1 (2.7)	0.0 (1.0)	0.0 (0.1)	0.0 (1.0)	0.0 (0.3)	0.0 (0.3)	0.1 (1.2)	0.1 (2.8)
本部費	0.0 (5.1)	— (—)	0.0 (0.1)	— (—)	— (—)	— (—)	0.0 (1.0)	0.0 (4.8)	0.0 (4.1)	0.0 (0.4)	— (—)	0.0 (1.6)	— (—)	— (—)	0.0 (1.6)	0.0 (2.4)
役員報酬	0.0 (11.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0.0 (2.4)	0.0 (3.6)	0.0 (4.2)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	0.0 (2.3)	0.0 (2.2)
収支差額	0.8 (74.7)	0.1 (5.2)	0.2 (21.9)	0.8 (69.4)	0.3 (28.6)	0.1 (13.4)	0.0 (0.4)	-0.1 (-10.2)	-0.8 (-72.1)	-0.7 (-62.7)	-0.0 (-4.0)	-0.9 (-81.7)	-0.0 (-1.0)	-0.1 (-11.4)	-0.3 (-25.5)	-0.1 (-13.3)

	三次配賦								合計
	外来部門								
	産婦人科	婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	リハビリテーション科	外来計	
医業収益	0.5 (0.5)	0.4 (0.4)	0.8 (0.8)	0.8 (0.8)	0.8 (0.8)	0.0 (0.0)	0.1 (0.1)	24.5 (24.5)	100.0 (100.0)
医業費用	0.9 (0.9)	0.8 (0.8)	1.1 (1.1)	1.1 (1.1)	1.4 (1.4)	0.1 (0.1)	0.4 (0.4)	27.4 (27.7)	98.9 (100.0)
給与費	0.5 (1.0)	0.4 (0.9)	0.6 (1.3)	0.6 (1.4)	0.6 (1.2)	0.0 (0.1)	0.2 (0.5)	13.3 (28.0)	47.5 (100.0)
材料費	0.1 (0.3)	0.2 (0.6)	0.1 (0.4)	0.1 (0.4)	0.4 (1.4)	0.0 (0.0)	— (—)	6.3 (23.0)	27.3 (100.0)
経費	0.3 (1.4)	0.1 (0.7)	0.3 (1.6)	0.3 (1.4)	0.3 (1.6)	0.0 (0.2)	0.1 (0.7)	6.0 (32.1)	18.8 (100.0)
減価償却	0.1 (1.9)	0.0 (0.6)	0.1 (1.7)	0.1 (1.4)	0.1 (2.6)	0.0 (0.1)	0.1 (1.1)	1.6 (33.8)	4.7 (100.0)
本部費	— (—)	0.0 (1.6)	— (—)	0.0 (2.2)	— (—)	— (—)	— (—)	0.1 (25.0)	0.5 (100.0)
役員報酬	0.0 (4.1)	— (—)	0.0 (3.9)	0.0 (2.4)	0.0 (3.1)	0.0 (1.4)	0.0 (1.8)	0.0 (43.4)	0.1 (100.0)
収支差額	-0.4 (-34.6)	-0.3 (-31.6)	-0.2 (-21.9)	-0.3 (-26.9)	-0.6 (-50.3)	-0.1 (-6.4)	-0.3 (-24.6)	-2.9 (-264.5)	1.1 (100.0)

3.1.7. 入院・外来別の診療科ごとの収支計算結果例（200床未満）

3.1.5 入院・外来別の診療科ごとの収支計算例（全体）に対し、200床未満の病院（計3病院）についてのみ収支計算を行った。

三次配賦で得られた診療科別の収支結果（200床未満 n = 3）をみると、入院部門は、施設全体の医業収益の6割、外来部門が4割を占めた。

医業費用については施設全体の医業収益に占める割合をみると入院部門は6割弱、外来部門は4割強であった。

収支差額について施設全体の医業収益に占める割合は、入院部門で0.7%の黒字、外来部門は2.2%の赤字であった。診療科別にみると、入院部門では、内科が4.4%の黒字、整形外科が0.8%の赤字となっていた。外来部門は、内科が5.3%の黒字、外科が0.7%の赤字であった。

図表 3-18 三次配賦で得られた診療科別の収支結果（200床未満 n = 3）

（上段：施設全体医業収益額を100とした場合の各項目の占める割合）

（下段：項目別部門合計を100とした場合の各部門の占める割合）

【三次配賦】

	三次配賦										
	入院部門										
	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻いんご科	皮膚科	入院計
医業収益	24.6 (24.6)	1.0 (1.0)	10.6 (10.6)	9.2 (9.2)	4.1 (4.1)	2.4 (2.4)	1.2 (1.2)	1.5 (1.5)	0.8 (0.8)	4.3 (4.3)	59.7 (59.7)
医業費用	20.2 (19.9)	0.6 (0.6)	9.3 (9.2)	10.0 (9.9)	4.7 (4.7)	2.4 (2.4)	6.4 (6.3)	1.2 (1.2)	0.7 (0.7)	3.3 (3.3)	58.9 (58.1)
給与費	11.0 (19.3)	0.4 (0.7)	5.5 (9.8)	5.9 (10.4)	2.4 (4.2)	1.6 (2.7)	3.1 (5.5)	0.8 (1.3)	0.5 (0.8)	2.1 (3.7)	33.2 (58.4)
材料費	3.9 (23.8)	0.0 (0.1)	1.8 (10.9)	2.0 (12.2)	1.4 (8.6)	0.3 (1.8)	0.0 (0.2)	0.2 (1.0)	0.1 (0.5)	0.4 (2.3)	10.0 (61.4)
経費	3.5 (18.8)	0.2 (0.9)	1.3 (7.0)	1.5 (7.8)	0.7 (3.5)	0.4 (2.2)	1.5 (8.2)	0.2 (0.9)	0.1 (0.7)	0.7 (3.7)	10.1 (63.7)
減価償却	1.8 (18.6)	0.1 (0.8)	0.7 (7.1)	0.7 (6.9)	0.3 (2.9)	0.2 (1.7)	1.7 (17.7)	0.1 (0.9)	0.1 (0.5)	0.2 (1.7)	5.6 (58.8)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	4.4 (-298.0)	0.4 (-23.7)	1.3 (-87.7)	-0.8 (54.8)	-0.6 (40.4)	-0.1 (3.6)	-5.2 (348.8)	0.3 (-20.1)	0.0 (-2.0)	1.0 (-65.2)	0.7 (-49.1)

	三次配賦																	
	外来部門																	
	内科	精神科	呼吸器科	消化器科	循環器科	小児科	外科	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	婦人科	眼科	耳鼻いんご科	皮膚科	外来計	合計
医業収益	23.8 (23.8)	0.3 (0.3)	—	—	—	1.0 (1.0)	3.0 (3.0)	3.5 (3.5)	—	1.1 (1.1)	0.4 (0.4)	1.8 (1.8)	0.1 (0.1)	3.2 (3.2)	1.1 (1.1)	1.1 (1.1)	40.3 (40.3)	100.0 (100.0)
医業費用	18.5 (18.2)	0.1 (0.1)	—	—	—	1.5 (1.5)	3.7 (3.7)	6.8 (6.7)	—	1.4 (1.4)	0.9 (0.8)	2.2 (2.2)	0.3 (0.3)	3.8 (3.7)	1.2 (1.2)	2.1 (2.0)	42.6 (41.9)	101.5 (100.0)
給与費	10.6 (18.7)	0.0 (0.1)	—	—	—	1.0 (1.8)	2.0 (3.5)	3.7 (6.4)	—	0.9 (1.5)	0.5 (0.8)	1.2 (2.0)	0.2 (0.3)	2.3 (4.1)	0.5 (1.0)	0.8 (1.4)	23.6 (41.6)	56.9 (100.0)
材料費	3.0 (18.5)	0.1 (0.3)	—	—	—	0.0 (0.1)	0.8 (5.2)	1.2 (7.4)	—	0.1 (0.7)	0.0 (0.2)	0.5 (2.8)	0.0 (0.0)	0.3 (2.0)	0.1 (0.8)	0.1 (0.4)	6.3 (38.6)	16.3 (100.0)
経費	3.6 (19.1)	0.0 (0.0)	—	—	—	0.4 (2.1)	0.6 (3.3)	1.3 (7.2)	—	0.3 (1.7)	0.2 (1.3)	0.5 (2.5)	0.1 (0.3)	0.7 (3.9)	0.4 (2.0)	0.6 (3.0)	8.7 (46.3)	18.7 (100.0)
減価償却	1.3 (13.2)	0.0 (0.1)	—	—	—	0.1 (1.5)	0.3 (2.9)	0.6 (6.4)	—	0.1 (1.4)	0.1 (1.1)	0.2 (1.7)	0.0 (0.2)	0.4 (4.0)	0.2 (2.1)	0.6 (6.7)	4.0 (41.2)	9.6 (100.0)
本部費	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
役員報酬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
収支差額	5.3 (-357.3)	0.2 (-11.4)	—	—	—	-0.6 (37.6)	-0.7 (46.0)	-3.3 (224.3)	—	-0.3 (20.1)	-0.5 (33.6)	-0.4 (29.7)	-0.2 (11.0)	-0.5 (36.1)	-0.2 (13.0)	-1.0 (66.4)	-2.2 (149.1)	-1.5 (100.0)

3.2. 特殊原価調査結果

3.2.1. 手術部門

3.2.1.1. 手術部門・給与費等係数

図表 3-19 サービス種類別医療機関別等価係数一覧（手術部門・給与費）

注1：各セルには、特定サービス種類（K633 ヘルニア手術）を1とした場合の比率を表示。

注2：“－”は数値のない項目を表す。

サービス種類		A 病院	B 病院	C 病院	D 病院	E 病院	F 病院	G 病院	H 病院	I 病院	J 病院	K 病院	L 病院
K000	創傷処理	-	-	0.82	0.39	-	0.60	0.78	-	0.24	1.36	0.05	-
K001	皮膚切開術	-	-	0.10	0.28	-	0.25	-	0.20	-	-	0.98	0.31
K002	デブリードマン	0.55	-	-	0.49	-	-	-	0.19	0.29	1.55	-	0.46
K003	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部)	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	-	-	-
K004	皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部以外)	-	-	-	0.35	-	-	-	1.29	-	-	-	-
K005	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)	-	-	0.46	0.46	0.29	0.20	0.32	0.26	0.16	1.44	0.11	0.55
K006	皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	-	-	0.23	0.35	0.29	2.57	0.38	0.13	0.26	0.41	0.17	0.13
K007	皮膚悪性腫瘍切除術	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.29	0.33	0.55	-
K008	腋臭症手術	-	-	-	1.23	-	-	-	-	0.21	-	-	-
K009	皮膚剥削術	-	-	-	-	-	-	-	-	0.24	-	-	-
K010	指瘻痕拘縮形成手術	-	-	-	0.95	-	-	-	-	0.28	0.86	-	-
K012	前層、分層植皮術(露出部・粘膜部・関節部以外の部位)	-	2.38	-	2.63	-	-	-	5.50	0.53	1.34	-	-
K013	前層、分層植皮術(露出部・粘膜部・関節部)	-	-	-	2.63	-	1.81	2.39	-	0.25	1.34	-	0.65
K014	皮膚移植術	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.64
K015	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術	-	-	-	1.79	1.96	-	0.61	3.73	0.69	1.23	0.52	7.15
K016	動脈(皮)弁術、筋(皮)弁術	-	-	-	1.79	-	-	-	-	1.16	-	-	-
K017	遊離皮弁術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	-	-	-	-	-	-	-	-	4.82	-	-	-
K020	自家遊離複合組織移植術(顕微鏡下血管柄付きのもの)	-	-	-	-	-	-	-	-	4.40	-	5.73	-
K023	筋膜切離術、筋膜切開術	-	-	-	1.79	-	-	-	-	-	0.52	-	-
K024	筋切離術	-	-	-	-	-	-	-	-	0.54	-	-	-
K025	股関節内転筋切離術	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-
K028	腱鞘切開術(関節鏡下によるものを含む)	0.05	0.84	0.12	0.21	0.47	0.41	0.21	-	0.10	-	-	-
K029	筋肉内異物摘出術	-	-	-	0.53	0.65	-	0.22	-	-	-	-	-
K030	四肢軟部腫瘍摘出術	-	-	0.91	0.11	-	0.88	0.48	-	0.59	-	-	0.23